市民の声

市当局や議会、または個人同士の攻撃にならぬご意見をおよせ下さい。
締切り＝毎月二十日
宛先き＝市役所内広報係

家内工業斡旋所の発足を

社会福祉事業の一環として南国市家内工業斡旋所の設立計画が市内有志によって陣情中であると承り、賛意を表します。

政府は厚生白書を出して国民の所得額倍増を発案しているとの事でありますが、俸給者とか一定の収入のある人はこんな政策も呑みに出来ますが、私等の如き日銭稼ぎ者は空念仏の如く考えられます。

それよりは身近な内職でも副業でも市の福祉事業の一環として施行されるなれば百の理屈より遥に有難く思います。此の度立候補されて御当選された市会議員の皆さまは選挙中に於いて街頭演説で必ず社会福祉の問題を取り上げて公約されていますが故、かかる提案が出された時は誰しも反対はないものと信じます。明日の論議より今日の実行と云う事に重点を置いて一日でも早く発足される事を切望して止みません。

私は失対を希望して申込みましたが病弱な主人があるために除外されました。

子供をかかえ日傭人として働いております。生活扶助をと云つて呉れる人もありますが、私の力のつづく限り根かぎり働いて一銭たりとも皆さまの税金をいただく考えは毛頭持つていません。私は最後まで頑張ります。

どうか市長様市会議員の皆さま、厚生委員の皆さま、私等の暮しよい明るい社会を作る様な政治を御願いいたし、南国市家内工業斡旋所を一日も早く発足出来る様特別の御配慮を御願いします。

（一婦人）

南国市と茂木家の家憲

野田醤油株式会社というよりもキツコー万といえば早わかりする。古い歴史をもつ茂木家中心の醸造で海外にまで輸出されている。

茂木家はこうした事業家でありながらその家憲の一つに「醤油を造るよりもまず人を造れ」とあるから愕かされた。これを読んだのは三十数年も昔のことと思うが今に忘れられない。若想の聡明さ思慮の深遠さただ感嘆久しいものがあつた。

世の中には、目先の問題を手際よく捌いて通るヤリヤといわれるものがあるが、これには往々にして事の前後の関係におまり責任を考えない精神的畸形もあるようだ。茂木家のいうその人はこれではなくて、精神的に豊満拡充能動化された興行の深い人を指しているのかと思わされた。野田醤油会社の降昌もこうした基盤の上に築かれたであろう。

郷土は南国市に発展して当面する幾多の課題が横たわつているが、市長の施政方針のうちに、人を造る教育を重視されていることはけい眼であり心強いわけである。

これはまた家庭人各位におかれても、茂木家の家憲のこの条句に改めて心を馳せていただきたい。

（浜田春水）

農業委員選挙を省みて

十一月十七日行われた南国市第一回目の、農業委員の選挙を省みると、定員三十名に対し市内全地域から四十二名の立候補者が続々と届出され南国田園都市の農産業振興の為にも大きな希望がもてるものと心強い感がしたが、選挙日が迫ると共に農を愛する上が次第に候補を辞退し共つて〆切時間には三十一名になつてしまつて初めの活潑な立候補届に較べガツカリさせられてしまつた。

田園都市の農産業を想う有志の心境を疑い度くなる。特に三十一名の一人は辞退届けを選挙管理委員会へ届けたが〆切時間に遅れ候補者の本意でなく選挙に持ち込まれたと聞く。

選挙に立候補するも辞退するも被選挙権を有する者の自由であるが、選挙に立つて大衆の与望に答えんとする者は今少し真面目な気持で決心してもらい度い、然も辞退届に時間遅れとなつた候補者は投票日当日にも投票所の入口に立つて「私に投票しないでくれ」と頼んで居たという。

見苦るしい限りであり選挙の法的にも如何かと思われ選挙人を愚弄するも甚だしい。

南国市の農業委員会の選挙費は幾何かかつたか知らないが予算は三二七、三〇〇円計上されているという（市会議員による調査）そして選挙管理委員会関係の人、多数選挙人の此の為に費やした時間を計算すると大変なことになる。

南国市は発足当時から赤字財政に悩んで居ることを市当局や議会人、市民から常に聞かされて居る際浮実の様な気持で立候補した人、辞退した人特に辞退時間に遅れ本意なく選挙に持ち込んだ人の為に南国市の払つた物質的犠牲、多数選挙民の払つた労的犠牲について猛省を促し今後の選挙に備え度い。

（長岡地区一農民）

公約の実施を

昭和三十五年の新しい朝が明けた。このすがすがしい年頭に当つてまず思うことは、これから西村市政がどう推進されて行くかだが、市民としては自らが選んだ市長の次の公約をふりかえつてみると

▽清く明るいガラス張りの市政をしくことをまず約束する。市議会を中心に、市民の声をよく取り入れ、市役所職員の採用については公平を期する。新市は一億数千万円の赤字を背負いこんでいるようだから、健全財政の軌道に乗せるため、ムダをはぶく。しかし赤字はあつても市の発展と、市民の福利という点から、新規事業も財政とにらみ合わせ、国の補助をえて実施する。箱南総合開発もその一つで、総工費三十八億円を要するこの事業もすでに井ゼキ関係については国、県が調査にかかつているから地元負担金を軽くするようにして早急に実施できるよう本腰を入れる。▽市内は二期作の中心地としてカンガイ水は不自由しないが排水については施設と対策がないから海岸地帯ではじめられている排水路工事を全市に実施して増産をはかる。山間部の果樹適地を開いてミカン、リンゴ、茶などの栽培を行い、林業面では植林の肥培管理という新しい分野を開きたい。▽不漁にあえぐ漁民対策として漁法を機械化し、副業を導入して生活難を解消できるようにする。それとともに酪農、葉タバコ栽培、連成園芸の振興をからませて、家計をうるおすことにより文化生活が楽しめるようにしたい。▽教育面では、最近道徳が低下しているから教育施設の整備拡充などで教育の振興をはかり、上をうやまい、下をいつくしむ気風をつくり上げたい。勤評問題は話合いで解決するように努力し、一日も早く教育の正常化をはかる。部はやい機会に人事の公正を市長に望んでおく。

▽清く明るいガラス張りの市政をしくことをまず約束する。市議会を中心に、市民の声をよく取り入れ、市役所職員の採用については公平を期する。新市は一億数千万円の赤字を背負いこんでいるようだから、健全財政の軌道に乗せるため、ムダをはぶく。しかし赤字はあつても市の発展と、市民の福利という点から、新規事業も財政とにらみ合わせ、国の補助をえて実施する。箱南総合開発もその一つで、総工費三十八億円を要するこの事業もすでに井ゼキ関係については国、県が調査にかかつているから地元負担金を軽くするようにして早急に実施できるよう本腰を入れる。▽市内は二期作の中心地としてカンガイ水は不自由しないが排水については施設と対策がないから海岸地帯ではじめられている排水路工事を全市に実施して増産をはかる。山間部の果樹適地を開いてミカン、リンゴ、茶などの栽培を行い、林業面では植林の肥培管理という新しい分野を開きたい。▽不漁にあえぐ漁民対策として漁法を機械化し、副業を導入して生活難を解消できるようにする。それとともに酪農、葉タバコ栽培、連成園芸の振興をからませて、家計をうるおすことにより文化生活が楽しめるようにしたい。▽教育面では、最近道徳が低下しているから教育施設の整備拡充などで教育の振興をはかり、上をうやまい、下をいつくしむ気風をつくり上げたい。勤評問題は話合いで解決するように努力し、一日も早く教育の正常化をはかる。部はやい機会に人事の公正を市長に望んでおく。

最後に、人事にゴマスリはつきものといつてしまえばそれまでだが、庁内人事は残念ながらゴマスリ人事とカゲ口をたたかれている。

海岸地帯は不漁に備え現在の施設、漁具をすべて近代化し、平均すれば水揚げにそう高低のないようにする。

また農業面は砂地のカンガイ化を実現して二期稲の畑苗代ならびに陸稲の栽培を強化する。

平地帯は水稲品種の改善、農薬の共同購入と共同防除の強化を徹底する。

山間地帯はカンキツの適地が多いから自衛隊をやとつて大々的な開こんをはかりたい。

またミカンはかなりの収入が上がるまで数年間かかるから、このつなぎに花キ栽培などをやるように仕向ける考えだ。

野口　日章、久礼田を中心とする酪農をより以上振興し、その生産品の一部を市民の食生活改善にも振り向けたい。

西村　高知大農学部、農高、県農試なども市内にあつて産業振興上どこにもないめぐまれた環境にある。

野口　奥地のマンガンと石灰岩開発も重点的に取りあげそれぞれ事業体に呼びかけ、渡りをつけている。

西村　このため全市を網の目のように結ぶ道路網の整備が必要となつてきた。

野口　その一つは石灰の稲生と岡豊橋まで約八キロの新設産業道路の建設だ。これは岡豊橋の北で国道三十二号線に連絡し、約三キロ北上して領石から穴内川ダムの補償道路として開発される黒滝ー奈路線産業道路とも連絡することとなる。

西村　この道路の稲生地区分では石灰山にトンネルをぬいて、直線化を図からなくてはならない。

野口　市長、教育施設をどう考えるか。

西村　南部の小、中学校は施設はほぼ完備しているが、校舎には一部古いものがある。北部は施設はまだ不十分だ。

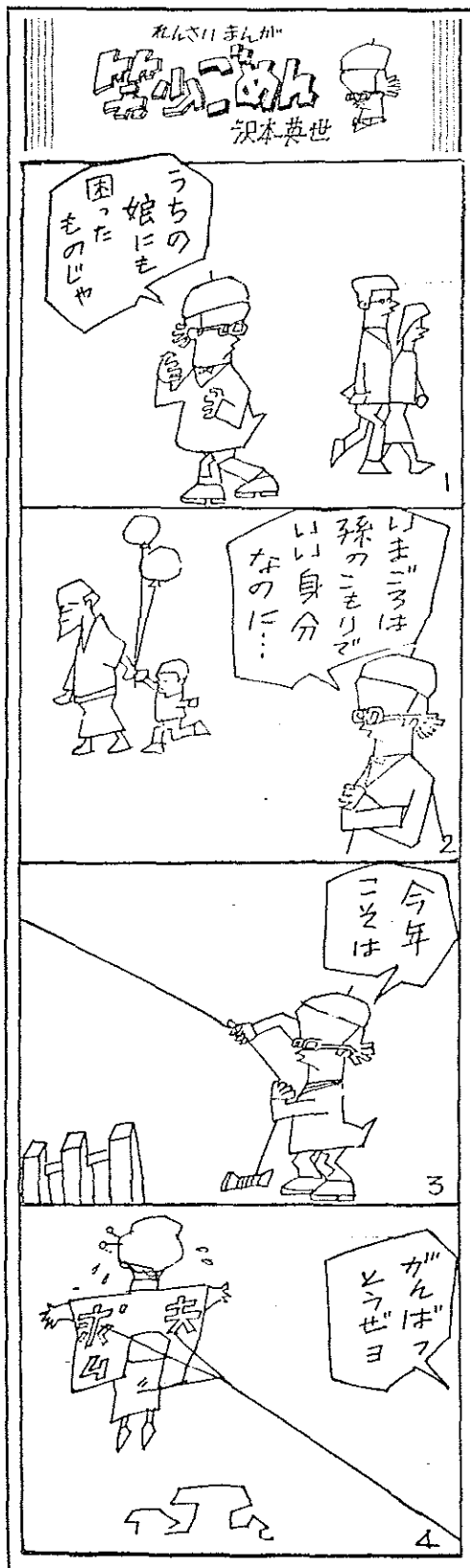
義務教育と社会教育を強化して、道徳を向上し明るい社会をつくらなくてはならない。

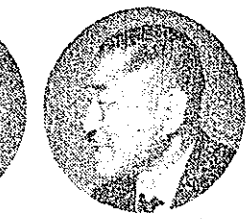
野口　市営質屋、住宅、ゆくゆくは養老院などもつくり、福祉施設を強化する。

市民待望の国保は三十六年度から実施することになつている。

西村　それにつき予算面でいまからいろいろ計画中だ。

野口　後免町を中心とした都市計画をたてなくてはならない。




西村氏

野口氏

新春対談

赤字財政にも生きがい
新産業道路も布設する

新生南国市も二年目を迎えた。

そして一月八日に終つた定例議会で骨格予算もかたまり、ほんとうに〝構え〟もできたというもの。

さて市長西村盛之、市会議長野口幸重両氏。それぞれ自治行政の古参であるが新市育成という点でどのような構想を持つているか。

年もあらたまれば、その考えも落ちつき、新しい考え方、見方もあろうというもの。

冬に似気ない陽気な一日その抱負を語つてもらつた。

もとよりこれが市政の大本である。

西村　市の財政についてだが、県下でも赤字をかかえた合併市町村があるが、南国市の財政はもとより赤字。

しかし、これはなにも心配することはない。

野口　才入出と赤字の比率からみた場合南国市の赤字は四、五%県財政課の話では、十五%までの赤字ならまず運営は大丈夫らしい。

西村　県下のある村の赤字は年間予算同額の約七千万円といわれるがそれでも結構運営できる。

野口　財源の一つとして国有林の払い下げを受けたい。

西村　それは申ノ川国有林で、実現すれば純益約八千万円がころがり込むこととなる。

野口　来月十二、三日ごろに市長が上京して関係方面にあいさつかたがた陳情することになつており、自分も議員たちのすすめで同行する。

この場合国有林従業員をどうするかの問題があるが、このことについては関係地元民の声を聞いて誠意を持つて善処したい。

西村　産業面についていうと海岸、平野、山間それぞれの土地柄に応じた対策を持つている。

海岸地帯は不漁に備え現在の施設、漁具をすべて近代化し、平均すれば水揚げにそう高低のないようにする。

また農業面は砂地のカンガイ化を実現して二期稲の畑苗代ならびに陸稲の栽培を強化する。

平地帯は水稲品種の改善、農薬の共同購入と共同防除の強化を徹底する。

山間地帯はカンキツの適地が多いから自衛隊をやとつて大々的な開こんをはかりたい。

またミカンはかなりの収入が上がるまで数年間かかるから、このつなぎに花キ栽培などをやるように仕向ける考えだ。

野口　日章、久礼田を中心とする酪農をより以上振興し、その生産品の一部を市民の食生活改善にも振り向けたい。

西村　高知大農学部、農高、県農試なども市内にあつて産業振興上どこにもないめぐまれた環境にある。

野口　奥地のマンガンと石灰岩開発も重点的に取りあげそれぞれ事業体に呼びかけ、渡りをつけている。

西村　このため全市を網の目のように結ぶ道路網の整備が必要となつてきた。

野口　その一つは石灰の稲生と岡豊橋まで約八キロの新設産業道路の建設だ。これは岡豊橋の北で国道三十二号線に連絡し、約三キロ北上して領石から穴内川ダムの補償道路として開発される黒滝ー奈路線産業道路とも連絡することとなる。

西村　この道路の稲生地区分では石灰山にトンネルをぬいて、直線化を図からなくてはならない。

野口　市長、教育施設をどう考えるか。

西村　南部の小、中学校は施設はほぼ完備しているが、校舎には一部古いものがある。北部は施設はまだ不十分だ。

義務教育と社会教育を強化して、道徳を向上し明るい社会をつくらなくてはならない。

野口　市営質屋、住宅、ゆくゆくは養老院などもつくり、福祉施設を強化する。

市民待望の国保は三十六年度から実施することになつている。

西村　それにつき予算面でいまからいろいろ計画中だ。

野口　後免町を中心とした都市計画をたてなくてはならない。

西村　都計にともなつて工場誘致を行なう。それとともに市民の職場も拡大されてくるわけだ。

野口　三十五年度中にはぜひとも市役所の庁舎を建設する考えで、いろいろ話合つている。見通しは明るい。

西村　そうだ、これは必ず実現するはずだ。

また将来は市民ホール農民センター、総合グラウンドも建設することとなる。

野口　市会議員も一人一人が責任を自覚して、市議という名において人にたよらず市政と取り組んでいる。

とにかく、市長、ことしはがつちり手を組んで大いにやりましょう。

西村　うん大いにやろう。

野口くん。